学 習 指 導 案

			长泽水			
日 時 指導クラス			指導者			
	2次関数)		教科書		
単 元 名	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ラフと2次不等式」	使用教材	MetaMoJi Classroom		
教材額	2次関数のグラ	本単元は2次関数の学習を応用し、2次不等式の解の範囲を求める学習である。具体的に、2次関数のグラフの凸の向きや x 軸との共有点から、2次不等式の解の範囲を掴んで正確に導くことが重要である。				
クラス:	4日	2次関数のグラフは、頂点の座標がわかっていると書くことができる。2次関数とx 軸との位置関係が2次方程式の解の個数から判断できるという理解は十分でない。				
指導額	見 位置関係から解	2次不等式は数種類の問題のパターンがあり、複雑である。2次関数のグラフとx 軸との 位置関係から解答を導けることを確実に理解させたい。解法に至るまでの過程を大切に し、ペア学習を通して知識・技能の定着を図っていく。				
単元の目標	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて 禁量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとと 本時の位置 5/6 もに、事象の考察に活用できるようにする。					
本時の目標	2次関数のグラフと x 軸との位置関係から 2 次不等式の解を求めることができる。					
評価規準 2次関数のグラフと x 軸との位置関係から2次不等式の解を求めることができる。【知】 本時の授業を振り返ろうとしている。【態】						
本時の展開						
過程 (時間)	学 習 項 目 (指導のねらい)	学 習 活 (□:指示·説明, ○:		指導上の留意点・観点別評価 (→:評価方法)		
導入 (5 分)	前時の復習	○前時の内容を各ペアで○ペアの説明, 自身の理Forms に入力する。	教え合う。	・MetaMoJi のノートを見なが		
本時の目標の説明		□本時の目標について説	明する。			
展開①	共有点をもたない	□問題1の提示				
(17分)	グラフの2次不等式	問題 1 不等式 x ² -	5x + 8 > 0	を解きなさい。		
		② 2 次関数 $y = x^2 - 5x$ 共有点をもたない条件 □ $x^2 - 5x + 8 = 0$ を解 図示する。 ○問題 1 に取り組む。 ○ペアで問題 1 について □問題 1 を解説する。 ○練習問題に取り組む。	を考える。 ?いてグラフ:	になることを生徒から引き出す。 ・生徒の状況に応じて解の公式を確認する。 ・グラフから判断するように伝える。 ・丁寧に説明して確実に理解させる。		
展開②	接点をもつグラフ	□問題2の提示		・最初に因数分解できるか、		
(15分)	の2次不等式	問題2 次の不等式を解	きなさい。	── できないかを考えるように ── 伝える。		
		$x^2 - 4x + 4 > 0$				
		$x^2 - 4x + 4 < 0$				
		○ 2 次関数 $y = x^2 - 4x$ と接する条件を考える □ $x^2 - 4x + 4 = 0$ を解 図示する。 ○問題 2 に取り組む。 ○ ノートを写真で撮り、	。 Yいてグラフ	を確認する。 ・グラフから2次不等式の解 を求めることができる。【知】 →MetaMoJiのノートで評価 早く解くことができた生徒		
		付する。		は応用 $4x^2+4x+1>0$ を		

		評価 A:応用	問題を解いて提出した	
		評価 B: 2 次	下等式の解を求めることができる	
		評価 C: ノー	トを MetaMoJi に添付している	
		□問題2を解説する。		
		□問題3の提示	・問題2との違いを意識して	
		問題3 次の不等式を解きなさい。		
		$x^2 - 4x + 4 \ge 0$		
		$x^2 - 4x + 4 \le 0$		
		○問題3に取り組む。○ペアで問題3の確認をする。□問題3を解説する。	・y=0 がある時とないとき の違いをグラフから理解さ せる。	
, , ,		○練習プリントに取り組む。		
まとめ (8 分)	復習・振り返り	○各自で今日の授業を振り返り、トをまとめる。	ノー ・MetaMoJi のノートに加筆させる。	
		○ペアで本時のポイントを確認する	5。 ・お互いのノートを見比べて 確認させる。	
		○本時の授業振り返りアンケー Forms に入力する。		
			→Forms から評価	
		<u> </u>		

評価 A:授業の要点をまとめようとしている

評価 B: 自己評価をしている

評価 C: アンケートに回答していない